大分県立芸術文化短期大学
国際文化学科
国際総合学科　通信

GLOBAL　GAZETTE

Summer , 2013

国際総合学科

１１１名で新しくスタート

留学生がやってきました！！

中国の江漢大学から３名の留学生がやってきました。石　美（セキ・ビ）さん、周　雅晶（シュウ・ガショウ）さん、陳　姝媚（チン・シュビ）さんは芸短大と協定を結んでいる江漢大学の留学プログラムを利用してこの４月に来日しました。

中国の江漢大学では日本語を専攻しています。日本語はもちろん、最近の若者文化や流行り言葉、社会のことなどにもとっても詳しいです。日本人であるわたしが教えてもらうこともたくさんあって、毎日驚きの連続です。

芸短大では留学生のための上級日本語や日本事情の講義の他に、秘書実務やビジネス英語、文化人類学などの講義を日本人学生と一緒になって受けています。一生懸命に学ぶ姿がとても素敵です！

普段の会話はほとんど日本語で、どんどん上達しています。中国語や歌を教えてくれたり、とても楽しい毎日です。

最近は買い物やレストランでの食事など、大分での生活を満喫しているようです。おにぎりにはまっています。

石さんは三人の中で一番年下ですが、元気一杯です。料理が得意で、いつも手作りのお弁当を持ってきています。周さんは日本のケーキが大好きです。英語も得意で、授業はいつも真剣そのもの。陳さんは日本の漫画やアニメに興味があって、最近イラストサークルの見学に行きました。三人とも明るく優しくて元気いっぱいです！

留学期間は一年と短いですが、たくさん学び、たくさん遊んで一緒に思い出いっぱいの一年にしていきたいと思います。

国際文化学科２年
石井佳帆

新入生

オリエンテーション

別府地獄巡りに行ってきました！！

４月６日（土），恒例の学外オリエンテーションに行ってきました。昨年度までは太宰府天満宮と九州国立博物館でしたが，今回は別府。ずいぶん近くなりましたが，中身は大変充実していました。

大分駅に集合した私たちは，貸切りバスで別府のホテルニューツルタさんへ。ホテルニューツルタの鶴田浩一郎社長が，私たちのために別府観光の歴史と現在の取り組みについて講演してくださいました。これから観光や地域づくり，海外との交流を目指す国際総合学科の学生にとって大変刺激的でした。昼食は大分名物の「とり天定食」です！午後は，バスで移動して，ゼミごとに別府の地獄をめぐるフィールドワークを満喫しました。

「地獄」というのは，温泉の噴気などを利用して、旅行客を楽しませる，別府観光の目玉です。

例えば上の写真は竜巻地獄。30～40分おきに温泉が地上に噴出します

また，血の池地獄では学生たちが足湯でゆったり、山地獄にはカバがいたりもします。

かまど地獄には，温泉を利用した岩盤浴。座っているだけで，足元がポカポカしてきますよ。

８つの地獄それぞれに見所がありました。外国人観光客も多く，彼らに楽しんでもらう工夫もいろいろ。学生たちは，それぞれの地獄の特徴や気づいた点について丹念にメモを取っていました。後日，「基礎ゼミナール」でこの別府フィールドワークの報告会をして，最終的に，ゼミごとにウォールペーパーにまとめます。

国際総合学科　准教授　　野坂　昭雄

GLOBAL GAZETTE

大分県立芸術文化短期大学　国際文化学科　国際総合学科　通信

Summer,　2013

アメリカ語学実習リポート

アメリカのカリフォルニア州にあるデイビス校へ１カ月間、語学実習に行きました。初めての海外で不安もありましたが、１週間が過ぎると生活に慣れ、とても充実した日々でした。

授業はすべて英語のため、聞き取りや話すことに苦労しましたが、最後には自信をもって話せるようになり成長を実感しました。週末のツアーに積極的に参加し、放課後に友人と買い物に行くなどアメリカ生活を満喫しました。また他国から来ている留学生とも仲良くなりました。ホームレスの人に食事を提供するボランティアを２度経験し、アメリカの格差について深く知り、より考えさせられる活動でした。この語学実習を通してかけがえのないものを得ることができました。

国際文化学科２年
河野由芽

学友会の活動

こんにちは。

学友会所属、国際文化学科２年の宗像祥司です。学友会とは、学生のみで組織された学生自治組織です。高校で言う、生徒会に近い活動と言っていいでしょう。私達の仕事は主に、学校の行事に関わり、様々なイベントを企画し、盛り上げていきます。具体的には、新入生歓迎パーティー、七夕祭、芸短祭に始まり、クリスマスパーティや、卒業パーティー等、多岐にわたるイベントの、企画、運営を行っております。私達が、中心となって、学生生活を盛り上げるという点で、非常に有意義な活動だと、私は確信しています。そして学友会活動は、皆さんが羽ばたいていく社会へ向けて、大きな一歩となります。興味のある方は、私達と共に学生生活を創り上げましょう！！

国際文化学科２年
宗像祥司

国際総合学科現代キャリアコース新任の植村修一教授にインタビューしました。

Q:　これまでの職場からなぜ芸術文化短期大学の教員になろうと思われましたか。

A:　1979 年に日本銀行に入社し、その後は 2001 年から 3 年間、大分支店長を務めました。今回、新学科で私の専門分野の募集を知り、以前いたことで親近感もある大分で若い人材を育てることを有意義だと感じました。

Q:　芸術文化短期大学の印象はどうですか。

A:　短期大学で芸術系の学科があるという点に希少価値を感じます。非常にユニークな 4 つの学科からなり、相互に影響しあうことでシナジー（相乗効果）も期待できます。環境としては、住宅地でありながら自然が多く、JR の駅からも近いためとても良いですね。また、これまでの職場と違い、女性が多いのでとまどっています。良いコミュニケーションを取りたいです。

植村先生の
最新著書

国際文化学科２年
安藤達哉